

令和7年竹田市教育委員会第2回定例会 会議録

- 1 開催日時 令和7年2月5日（水）午後3時から
- 2 開催場所 竹田市役所2階庁議室
- 3 出席委員

教育長	志賀 哲哉
1 番委員	吉野 聖子
2 番委員	岡 茂樹
3 番委員（教育長職務代理者）	甲高 幸一
4 番委員	進 みづほ
- 4 欠席委員 なし
- 5 本定例会に説明のため出席した者の職・氏名

教育総務課長	羽田野京子
学校教育課長	渡邊 幸美
生涯学習課長	藤島 勲
まちづくり文化財課長	佐藤 俊郎
竹田中央学校給食共同調理場長	甲斐 正寿
歴史文化館長	佐藤 晃洋
事務局員 教育総務課課長補佐	古澤 邦利
- 6 議事日程
 - (1) 会議録の承認 第1回定例会会議録
 - (2) 教育長報告
 - (3) 審議事項

議題第3号 令和6年度竹田市教育費予算（3月補正）要求書について
議題第4号 竹田市総合運動公園ネーミングライツ・パートナーの継続契約について
 - (4) 報告事項
 - (5) 審査事項
 - (6) 協議事項

・令和6年度小中学校卒業式・幼稚園卒園式及び令和7年度小中学校入学式・幼稚園入園式について

 - (7) 連絡事項
 - (1) 2月幼・小・中行事予定表
 - (2) 2月教育委員会関係日程（予定）表
 - (3) 今後の主な予定
 - (8) その他 各課から
 - (9) 教育委員からの提案・意見
- 7 議事次第 別紙のとおり

〔開会時刻：午後 3 時 00 分〕

羽田野教育総務課長	委員の出席状況でございます。教育長及び委員 4 名出席、傍聴者はいらっしゃいません。地方教育行政の組織及び運営に関する法律第 14 条第 3 項の規定に基づき、本委員会が成立していることを報告いたします。
志賀教育長	それでは、ただいまから令和 7 年第 2 回定例会を開会します。第 1 回定例会の会議録は、すでにお配りしていますが、質疑、修正等はありませんか。
委員	（「はい。」の声）
志賀教育長	それでは会議録を承認願えますか。では、会議録に署名をお願いします。 （署 名）
志賀教育長	次に、教育長報告をお願いします。教育総務課長。
羽田野教育総務課長	前回の教育委員会第 1 回定例会以降の報告をさせていただきます。 1 月 10 日、サフラン 3 学期始業式。11 日、新臼杵市施行 20 周年記念式典。12 日、令和 7 年竹田市二十歳の集い。14 日、部活動あり方検討委員会。15 日、全中ソフトボール競技竹田市実行委員会設立総会。16 日、竹田教育振興協議会運営委員会。17 日、部活動検討委員会。22 日、部活動地域移行保護者説明会。23 日、第 11 回校長・所長会議、及び久住高原農業高校の令和 6 年度学習成果発表会。24 日、稲葉学園サッカー部員のなでしこリーグ 2 部決定市長表敬訪問。25 日、たけたん自學舎入試直前集中講座。26 日、令和 6 年度文化財防火デー、及び佐藤義美生誕 120 年記念さとうよしみ童謡祭。27 日、竹田市世界かんがい施設遺産登録推進実行委員会。28 日、架け橋カリキュラム開発会議、ソフトボール、サッカーの全国大会・九州大会出場報告、及び 29 日にかけて史跡岡城跡調査整備委員会。29 日、定例課長会議。31 日、竹田教育振興協議会評議員会、及び公益財団法人老人はげみの里見会創立 50 周年記念式典。2 月 1 日、直入中学校発表の未来創造プロジェクト。3 日、臨時議会。4 日、竹田市労働安全衛生委員会。そして本日 5 日、教育委員会第 2 回定例会。以上です。
志賀教育長	教育長報告に対する質疑等ありませんか。 甲高委員。
甲高委員	いつも質問させていただいておりますが、1 月 14 日と 1 月 17 日に部活動についての、それぞれ委員会や説明会があっているようなので、保護者の方々の意見だとかもしあったら、お知らせいただきたいと思います。
志賀教育長	学校教育課長。
渡邊学校教育課長	はい、お答えします。1 月 14 日の部活動あり方検討委員会それから 17 日の部活動検討委員会の方では、今年度の地域クラブ移行をしている、それぞれの総括や、新たに見えてきた課題、それから次年度、令和 7 年度の方向性それから取り組みについて、こちらから現状報告をしたり、提案を申し上げてご意見をいただいて、22 日の保護者説明会に向けての確認をいたしました。

	22日の保護者対象の説明会ですが、小学校、中学校すべての保護者にご案内を申し上げました。実際に会場に見えてくださった方、それからオンラインで参加してくださった方、合わせて80名の方々の参加がありました。 初めに、「部活動の地域連携、地域移行について」というタイトルで、スポーツ庁の部活動改革の資料とか、竹田市の出生率の年次推移を表した資料をもとに、部活動の地域連携や地域移行の意義、必要性について、生涯学習課の倉原係長よりお話していただきました。次に、学校教育課の田辺指導主事より、部活動の地域クラブ移行についての竹田市の現状と今後の計画見通しについて説明を行いました。その後、2月7日を期限に説明会を受けての質問や意見を2次元コードよりいただくようにしています。いただいた質問やご意見については、全体に関わることは、竹田市保護者連絡システムすぐるにて全保護者に、それから各クラブに関することについては、3月の各クラブ別の説明会の折にお返しする予定となっています。ですから保護者さんの意見、それからご質問等、ちょっと今日はまだ集約ができていませんので、次回報告いたしたいと思います。
志賀教育長	いかがでしょうかよろしいでしょうか。
甲高委員	はい。
志賀教育長	他にありませんか。 それでは、次に移ります。本日の審議案件は2件です。初めに議題第3号「令和6年度竹田市教育費予算3月補正要求書について」です。各課から説明を行い、すべてが終了した後に質疑を受けたいと思います。それでは、教育総務課長、お願いします。
羽田野教育総務課長	はい。議第3号令和6年度竹田市教育費予算3月補正要求書です。 要求書説明資料の2ページをご覧ください。教育総務課関係の予算要求内容を説明いたします。まず歳入の2,830千円減というのは、菅生小学校と直入小学校・下竹田コースのスクールバス購入に際して行った入札において、当初見込みよりも低い額で取得できたことにより、財源の過疎対策事業債とへき地児童生徒援助費等補助金について減額するものであります。 次に歳出ですが、主な部分だけ申し上げます。まず、10款1項2目、教育委員会事務局費が10,622千円の減額。その内訳は、歳入のところで申し上げたスクールバス購入にかかる機械器具購入費2,599千円の減のほか、主なものでは業務委託料の4,895千円の減、これはICT支援業務の人件費予算を計上しておりましたが、研修事業の見直しによって減額したものです。次に、10款2項1目、小学校管理諸費ですが、令和6年度に導入した小学校4校の体育館照明LED化に伴うリース料が、工期と契約の関係で3か月遅れの支払いスタートとなったため1,100千円の減額。10款4項1目、幼稚園運営費の中の送迎委託料4,500千円の減は、園児の数が想定より少なかったための減額です。 その他の款項目においては、既定予算の執行残による不用額の減額を補正要求しております。内容は内訳のとおりです。教育総務課関係は以上です。
志賀教育長	学校教育課長。

渡邊学校教育課長	3 ページをご覧ください。学校教育課は歳出のみです。人材育成海外交流事業は、相手側であるバードクロツィンゲンの担当者より、今年度も受け入れはできないとの連絡をうけましたので、事業ができず、115 万 6 千円の減額を補正要求しております。
志賀教育長	藤島生涯学習課長。
藤島生涯学習課長	はい。4 ページをお開きください。生涯学習課の 3 月補正の歳入、歳出について、主な内容についてご説明申し上げます。 まず、歳入でございます。各施設ともに自動販売機の購入が減っていることによる収入減をしています。総額で 207 千円減額しています。 歳出については、公民館運営事業費として荻公民館の空調工事を行いました、設計管理費がかかりませんでしたので 120 千円減額しています。保健体育総務諸費については、教室の講師を職員で行ったことによって報償費を 300 千円の減、昨年度より合宿チームが少なかったことによる負担金を 1,916 千円減額しています。総合運動公園運営管理費については、芝管理業務にかかわる委託料の入札残、陸上競技場 LED 化に伴う入札残を減額するものです。飛田川グラウンド運営管理費については、漏水による光熱水費の不足分、27 千円を増額計上しています。体育センター運営管理費については、グランツとの兼ね合いや本年、県の防災訓練が竹田市で行われた為、消防職員による除草等によって除草伐採の費用が残ったため減額しております。体育施設管理費久住支所分については、ソフトボールコートの照明柱を撤去しましたが、設計管理費がかかりませんでしたので減額しています。直入支所分については、グラウンドトイレの解体に係る設計管理費がかからなかったこと、工事費の予算残を減額しております。生涯学習課からは以上です。
志賀教育長	佐藤まちづくり文化財課長。
佐藤まちづくり文化財課長	はい。5 ページをお開きください。 まず歳入です。16 款 3 項 7 目、教育費県委託金を 32,560 千円の減です。これは、歳出の 10 款 5 項 11 目、1469 県営圃場整備関係発掘調査事業を 35,200 千円減するために、事業費の 92.5 パーセントを併せて減額するものであります。続いて歳出です。全て不用額を減額補正するものです。10 款 5 項 8 目、376 文化財管理センター運営管理費の市単運営費等補助金を 100 千円の減です。1437 文化財保存活用地域計画事業の報奨金と外部講師旅費を 985 千円の減です。これは、文化財保存活用地域計画事業にある指定等文化財現況把握調査、指定等文化財の写真撮影、未指定文化財の総合把握調査を職員で実施し、市民調査員を公募する必要がなかったため補正するものです。10 款 5 項 10 目、1049 歴史的風致維持向上事業を 758 千円の減です。これは、歴史的風致維持向上計画を令和 5 年度に策定し、令和 6 年度に 2 回の竹田市歴史的風致維持向上協議会を開催予定でしたが、計画の 1 年目でもあり特に協議事項もなく開催に至りませんでした。また、関係省庁との協議はメール等でリモート開催、認定市担当者会議は z o o m で開催されましたので減額補正するものです。10 款 5 項 11 目、1469 県営圃場整備関係発掘調査事業は歳入でも申し上げましたが、35,200 千円の減です。印刷製本費については、高源寺遺跡発掘調査報告書一式の入札残 700 千円の減です。業務委託料、賃借料につきましては、荻の桑木遺跡、高練木遺跡

	等試掘の結果遺跡が発見され早めに発掘調査に移りたかったのですが、県予算が不足していたこともあり、令和 6 年度予算を減額して令和 7 年度予算で対応するものです。まちづくり文化財課からは以上です。
志賀教育長	佐藤歴史文化館長。
佐藤歴史文化館長	はい。歴史文化館です。6 ページをご覧ください。 歳入はありません。歳出について、1,033 千円の減額でございます。旧竹田荘及び歴史文化館における各事業について精査して、職員手当や会議、出張等に係る減額、講演会関係の残額等を不要額として減額計上しております。以上です。
志賀教育長	甲斐給食調理場長。
甲斐給食調理場長	はい。学校給食調理場です。資料の 7 ページをご覧ください。 歳入につきましては、教育負担金のうち現年度分の給食負担金を 2,840 千円減額で歳入合計額 69,362 千円とするものです。長期の欠席者など児童生徒や教職員の給食実績を考慮し、利用者の給食負担金の見込みを見直しました。充当先の賄材料費に同額の減額となっています。 歳出につきましては、6,917 千円を減額し、歳出合計額 217,582 千円とするものです。内訳は、361 事業の久住調理場は 2,175 千円の減額で、主なものは、電気料や水道代の光熱水費 1,426 千円、賄材料費 332 千円、委託料 81 千円、農業集落排水の使用料 223 千円、食缶等の購入がなかったため備品購入費 113 千円。913 事業の竹田中央調理場は、4,742 千円を減額で、主なものは、電気料や水道代の光熱水費 1,488 千円、修繕料 500 千円、賄材料費 2,509 千円、委託料 176 千円、コピー機などの使用料 69 千円を、それぞれ執行残を減額するものです。調理場は以上です。
志賀教育長	説明が終わりましたので質疑を受けます。まず、教育総務課について質疑等ありませんか。
委員	(「はい。」の声)
志賀教育長	学校教育課についてありませんか。
委員	(「はい。」の声)
志賀教育長	生涯学習課についてありませんか。
委員	(「はい。」の声)
志賀教育長	まちづくり文化財課についてありませんか。
委員	(「はい。」の声)
志賀教育長	歴史文化館についてありませんか。

委員	(「はい。」の声)
志賀教育長	給食調理場について。
委員	(「はい。」の声)
志賀教育長	ないようでしたら、議題第 3 号承認してよろしいですか。
委員	(「はい。」の声)
志賀教育長	承認されました。次に、議題第 4 号「竹田市総合運動公園ネーミングライツパートナーの継続契約について」です。説明をお願いします。生涯学習課長。
藤島生涯学習課長	はい。第 2 回定例会議題の 3 ページをお開きください。 議題第 4 号竹田市総合運動公園ネーミングライツパートナーの継続契約についてということであります。この案は、優先交渉権のある株式会社丸福さんより、竹田市総合運動公園のネーミングライツパートナー契約の継続の申し出がありましたので、竹田市ネーミングライツ事業実施要領第 15 条の規定によって、あらかじめ教育委員会に意見を聞くものであります。申し込みの法人等は、その上段に書いておりますけれど、株式会社丸福さんが継続をしていただけたということになりました。希望金額については、1 年当たり 100 万ということで、本年の 4 月 1 日から令和 10 年の 3 月 31 日までの 3 年間継続をするというものでございます。以上です。
志賀教育長	ただいまの説明に質疑等ありませんか。 ないようでしたら、議題第 4 号を承認してよろしいですか。
委員	(「はい。」の声)
志賀教育長	承認されました。次に移ります。報告事項はありません。協議事項について教育総務課長、説明をお願いします。
羽田野教育総務課長	はい。それでは協議事項です。(1) 令和 6 年度の小中学校の卒業式・幼稚園卒園式、及び令和 7 年度小中学校入学式・幼稚園入園式についてでございます。出席者については、次のページに案として載せております。まず①卒業式・卒園式ですが、中学校は 3 月 7 日、幼稚園が 3 月 19 日、小学校 3 月 24 日、それぞれ学校ごとに出席予定者を割り振りしております。次に、②の入学式・入園式については、中学校が 4 月 9 日、小学校 4 月 10 日、幼稚園 4 月 11 日、これも同様に割り当てをしておりますのでよろしく願いいたします。①②ともに割り当ての期日で、ご都合が悪い場合につきましては、教育総務課までご連絡をいただければと思います。協議事項については以上です。
志賀教育長	ただいまの説明に質疑等はありませんか。協議事項についてはよろしいでしょうか。
委員	(「はい。」の声)

志賀教育長

それでは次に連絡事項について、教育総務課長説明をお願いします。

羽田野教育総務課長

連絡事項（１）、２月の幼稚園・小中学校の行事予定表につきまして、資料の２ページをご覧ください。２月１日、直入中の大分っ子「未来創造プロジェクト」。３日、菅生小の縄跳び記録会、及び白丹小の入学説明会。４日、竹田小・城原小・荻小・久住小・直入小の入学説明会、豊岡小の縄跳び大会、久住小の避難訓練、都野小の火災避難訓練、この日から翌５日まで県立高校推薦入試。６日、南部小・祖峰小の入学説明会、荻小の縄跳び大会、及び私立高校一般入試。７日、竹田中の入学説明会、及び竹田中２年生の着物着付け体験。１３日、白丹小の縄跳び大会。１４日、直入小の縄跳び記録会、竹田南部中・直入中の入学説明会、及び竹田幼稚園の雛祭りオープニングセレモニー。１７日、竹田幼稚園の避難訓練。１８日、緑ヶ丘中の入学説明会。２１日、祖峰小の縄跳び大会、及び南部幼稚園の避難訓練。２４日、菅生小の閉校記念式典。２５日、祖峰小のZUMBA教室。２７日、城原小・竹田幼稚園のお別れ遠足。２８日、竹田小・豊岡小・祖峰小・白丹小のお別れ遠足、及び城原小の縄跳び大会。

続いて、次のページ、３ページをご覧ください。２月の教育委員会関係日程（予定）表でございます。本日２月５日、教育委員会第２回定例会。６日、竹田市中体連協議。７日、第２回岡の里名水マラソン大会実行委員会。１０日、令和６年度荻地域人権啓発推進講演会、及び第１回竹田市長期総合教育計画審議会。１２日、竹田教育研究会全体会。１３日、特別支援ネットワーク会議。１４日、チャリティーショー第２回実行委員会、及び声楽コンクール実行委員会。１７日、竹田高校の未来を輝かせる会令和６年度第１回会議。１８日、第１２回校長・所長会議、及び「竹田市子ども読書活動推進計画」第２回策定委員会。１９日、令和６年度第２回竹田市地方創生推進会議・アドバイザー合同会議。２１日、第３５回全九州中学生選抜女子ソフトボール大会監督会議。２４日、菅生小学校閉校記念式典。２７日、定例課長会議。２８日、サフラン３年生を送る会、及び竹田市労働安全衛生推進委員会。３月２日、第３６回岡の里名水マラソン大会。５日、第３回竹田市教育委員会定例会。

１ページに戻っていただきまして、（３）の今後の主な予定でございます。①教育委員会第３回定例会は、３月５日（水）１５時から、本庁議室にて開催を予定しておりますが、この日が３月議会一般質問の最終日に当たります。最終日の午後、しかも１５時台まで一般質問があったことはここ数年ありませんので、このままの予定にしておりますが、万が一質問者が多く１５時台まで伸びた場合は、６日（木）の１５時、建設課横２階の会議室での開催となりますのでご了承ください。２月１９日が一般質問通告書の締め切り日ですので、１９日以降にいずれの場合もメールにて開催日をお知らせいたします。②第１回臨時会を３月１９日（金）１６時から、教育長室にて非公開による開催です。③第４回定例会は、４月４日（金）１５時から、本庁議室にて開催します。連絡事項につきましては以上でございます。

志賀教育長

質疑等はありませんか。
岡委員。

岡委員

２月１０日に行われます第１回竹田市長期総合教育計画審議会は、こういったメンバーの方がおられるのかというのと、今後こういった形でその計画を進めて

	いかれるのかというあたりを教えてください。
志賀教育長	教育総務課長。
羽田野教育総務課長	はい。予定表にあります、竹田市長期総合教育計画推進審議会の開催についてです。先日の定例会で各課長に答申の検証を依頼しましたが、次期計画の諮問を行う審議会の立ち上げを行う予定にしております。今回、2月10日に行われる審議会では、委員の委嘱、これについては、教育の関係者ということで、学校の先生のOBの方、それから教育関係ということで教育委員のOBの方にもお願いする予定になっております。それから、PTA関係では、PTA連合会の方から、会長、副会長の方の任命いただいております、その方々をお願いしております。それからこちらの事務局としての分と、現役の校長会からも出ていただきます。それと、市長部局から総務課長が出るというふうな構成で、15名以内と条例に定められております。それと、議員からも2名、社会文教常任委員会の方から推薦をいただいておりますので、議員にもお願いすることになっております。今回は委員の委嘱と今後のスケジュールの説明、それと令和7年度に実施しようと思っておりますアンケートの内容の検討が主な議題になっております。諮問については、7年度になってから、役職の委員変更が終わってからになりますので、特に議員については選挙後の新体制になってから選出を依頼するため、6月以降でないと揃わないと思われます。それまでに、アンケートの集計ですとか、諮問の作成を行って、答申を依頼するという予定になっております。アンケートについては、前回、統合を検討している対象の6校に対して行ったんですけれども、今回は全保護者、それと未就学児保護者に対しても行うように予定しております。以上です。
志賀教育長	岡委員よろしいでしょうか。
岡委員	はい。審議会で話し合われた内容を承認するのは、最後は議会という形になるんですか。方針の最後の決定というのはどういう形になるのでしょうか。
志賀教育長	教育総務課長。
羽田野教育総務課長	審議会で答申が出てそこで決定という形です。計画そのものは並行して作成する中で、こちらの事務局の方で作る形になります。パブリックコメント等を行った後、議員さんにも入っていただいておりますので、議会に対しては報告という流れになります。
志賀教育長	よろしいでしょうか。
岡委員	はい。
志賀教育長	他にないでしょうか。 教育総務課長。
羽田野教育総務課長	もちろん教育委員会でも審議していただいて、承認をいただくという形にはなります。

志賀教育長	他にありませんか。 連絡事項についてはよろしいでしょうか。
委員	(「はい。」の声)
志賀教育長	それでは、各課からお願いしたいと思います。まず教育総務課長。
羽田野教育総務課長	はい。二点のうち一点の長期総合教育計画審議会については、先程述べましたので省略させていただいてもう一点についてです。 もう一点は城原小学校のアンケートの件です。1月17日が回答期限でしたが、14P家庭数で、1端末から1回の回答ですので、両親ともに回答した場合、28件の回答が最大になります。そのうち11件の回答があり、内訳は統合を支持する内容のものが7件、反対意見のものが4件でした。反対する理由として、「子ども診療所の再開の方が先だ」「こちらの意見を聞いてくれず、一方的な統合案のまま改善されない。白紙撤回以外の案なら持ってこないでほしい」などがありました。あと賛成については、子どもが少ないので子どものために統合をという形ですとか、統合するにしてもきちんと話し合った上で行って欲しいという意見でした。以上です。
志賀教育長	渡邊学校教育課長。
渡邊学校教育課長	はい。学校教育課より二点あります。 一点目ですが、1月25日に「たけたん自學」入試直前集中講座を実施しました。市内の中学3年生・2年生、計16名が参加してくださいました。学習方法や入試問題に臨むテクニックに加え、入試までの1ヶ月半、それぞれが必死で頑張ったことは、かならずその後のそれぞれの自信になる、また、そうなるように取り組んでほしいと、講師の先生が激励してくださいました。学校の授業では聞けないような話題もあり、参加した生徒の皆さんには良い学びの時間になったようです。今週末2月8日・15日も引き続き開催致します。また、同日、小学生対象にたけたん大テストと題し、算数・理科の振り返りテストを行います。二点目ですが、2月22日・23日に、全日本中学校体育連盟主催による九州ソフトボール大会が竹田市で開催されます。大分県中学校体育連盟・竹田市中学校体育連盟に加え、竹田市ソフトボール協会の皆さまの全面協力で大会が行われます。関係者の皆様に感謝申し上げますとともに、お時間がありましたら教育委員の皆さまの観戦をお待ちしております。学校教育課からは以上です。
志賀教育長	藤島生涯学習課長。
藤島生涯学習課長	はい。生涯学習課からは、四点お知らせします。 一点目は、前回お知らせしましたが、第36回岡の里名水マラソン大会です。昨年度の参加者は980名でしたが、今年度は135名ほど増えまして、1,115名のエントリーがありました。フルマラソンが396名、ハーフマラソンが289名、10kmが374名、岡城史跡巡りウォークが56名となっています。 二点目として、チラシを配布させていただいておりますが、大分県人権・部落差別解消教育研究協議会が行いますオープン講座が竹田市で開催されます。2月

	17 日、月曜日、午後 2 時から竹田市総合社会福祉センターで行います。講師は、小西幸恵さんで福岡県部落解放同盟の役員として部落差別問題に向き合い、現在は部落の子どもをはじめさまざまな子どもたちの支援活動をおこなうドリームチルドレンという組織を立ち上げ、その代表を努めていらっしゃいます。誰でも気軽に参加できますので、教育委員のみなさまも是非ご参加いただきたいと思います。 三点目は、先ほど議題でネーミングライツについてご審議顶きましたが、直入総合運動公園も募集を 1 月 15 日期限に募集しましたが、応募はありませんでした。2 社ほど問い合わせはありましたが、金額が折り合わなかった状況です。 四点目は、久住の総合運動公園体育館の撤去について来年度中を目途に進めています。現在、久住の体育館は雨漏りによって武道場は使用禁止になっています。ステージ部分も雨漏りをするようになってきましたし、地震により壁面が落ちている箇所もあります。南海トラフ地震も近年騒がれていますが、新耐震基準を満たしていない事が大きな問題となっています。改修となれば数億円の費用を要しますので取壊しを行いたいと思います。議会には既に説明をし、現在利用者へのご理解をいただいているところです。その後、久住の自治会長会で説明を行う予定となっています。生涯学習課からは以上です。
志賀教育長	佐藤まちづくり文化財課長。
佐藤まちづくり文化財課長	はい。まちづくり文化財課です。 今月は特段ございません。
志賀教育長	佐藤歴史文化館長。
佐藤歴史文化館長	はい。歴史文化館です。 展示について連絡させていただきます。特別展示室では、3 月 2 日（日）まで、佐藤義美の生誕 120 年を記念して「内弟子のみた義美作品」展を開催しております。内弟子で義美記念館の建設に大変御尽力されました稗田宰子さんが選んだ作品を中心に義美作品を紹介する展示です。 市民ギャラリーでは、2 月 7 日（金）から 2 月 12 日（水）まで、竹田高校書道部の作品展を開催します。書道部員の取組の成果を、ゆっくりとご覧いただければと思っております。 また、2 月 14 日（金）からは、市民ギャラリーで、「第 27 回岡藩城下町ひなまつり」にあわせて、雛人形等の展示をいたします。よろしくお願いいたします。
志賀教育長	甲斐給食調理町長。
甲斐給食調理場長	はい。調理場からは二点、連絡致します。 まず、2 月 27 日に、竹田中央調理場で大分県保健所立会による衛生管理検査を行います。各調理場で年 1 回、調理作業の工程や場内配置を実地により研修し、衛生管理の改善点などを協議いたします。 次に久住小学校の栄養教諭が全国精麦工業協同組合連合会主催の「学校給食向け国内産大麦レシピコンクール」の主食部門で「スーパーちぐさやき」のレシピを応募し、優秀賞を受賞しましたので報告します。 最後に昨日から明日にかけての大雪予報が出ています。今のところ学校から休

	校などの見込みもなく、業者からの配送変更等の見込みもないため、明日は、両調理場とも献立表のとおりパン給食を実施します。調理場からは以上です。
志賀教育長	それでは、図書館について羽田野教育総務課長。
羽田野教育総務課長	はい。図書館からは、「子どもの読書活動推進計画」についてお知らせします。昨年行ったアンケート結果に基づき、事務局で作成した新計画（案）について18日の2回目の策定委員会で協議いたします。その後、ご意見をいただき3月にもう一度委員会を開催し承認頂く予定です。以上です。
志賀教育長	それでは、各課からお知らせがありましたが、ご意見、質問等はありませんか。
委員	（「はい。」の声）
志賀教育長	それでは最後に、教育委員の皆様からご意見、感想等があれば、いただきたいと思えます。吉野委員からお願いします。
吉野委員	1月30日に直入中学校の総合的な学習の時間の成果発表会というのがあってそれに行ってきました。1年生から3年生までの発表を聞いたんですけど、1年生は7人全員で力を合わせての直入地域における、キリスト教布教についての考察という内容でした。2年生は、職場体験で学んだことを踏まえて、地域のためになることを考えるような発表でした。3年生は1人ずつテーマを持って、学習してきたことを代表者5人の発表を聞きました。 1年生から3年生まで各学年どこも大変充実した内容だったんですけど、年間を通じて本当に様々な体験をさせてもらって、クラスで意見交換をしながら、学びを深めてきて、充実した時間を過ごしたんだろうなというふうに感じました。いずれも、外部の方を訪ねたり、また学校に来ていただいたりして、話を聞いたり、いろんなご指導いただきながらいろんな体験をさせていただくことで、それがあってこそその広がりとか深まりとかそういうものができたのかなと思ひまして、やっぱり協力してくださる方は仕事がありながら、時間を割いていただいていると思うので、大変感謝にたえないなと思いました。 1年生から3年生まで連続して聞いたので、スキルアップしていく様子がわかるというか、1年生はみんなで調べたことをまとめて発表する力とか表現する力とかが十分ついてきたんだろうなというふうな感想を持ちました。2年生になって、修学旅行にも行ってるし、外部との繋がりが広がって視野が広がって、発信力が身についてくるところなのかなと思いました。3年生になったら、進路意識とかその人生観みたいなのが垣間見えるような内容になっていて、その成長を感じる時間でした。また、思い返せば小学校のときからの積み重ねがここに繋がってるんだろうなというふうにも思いました。やっぱりそういうまとめたことを、1年間学んだことの成果として発表する場があったことで、いい区切りになったんじゃないかなというふうに思いましたので、学校単位でこういう発表する機会を設けてくれたことにやっぱり大きい意味があったなというふうに思いました。以上です。
志賀教育長	岡委員をお願いします。

岡委員

はい。私の方は、先月、外国語教育域学連携事業として久住小と城原小の6年生合同で行われたレッツエンジョイイングリッシュに行って参りました。ALTの3名と国際交流員の方1名が集まるという非常にうらやましい充実した環境での授業で、皆さんがすごく上手にサポートされたこともあって、子どもたちが本当に臆することなく会話を楽しんでました。ALTの方や国際交流員の方が自国の紹介をするときなんか、子どもたちは身を乗り出して聞いていて、すごく貴重な時間だったと思いますし、こういった取り組みをぜひ継続していただければありがたいなと思いました。理想的には座学以外にも、いろんな課外活動なんかで一緒に交流をすると、相手のことを知りたいとか自分のことを伝えたいという気持ちが芽生えてきて、小学校の語学スタート時のステップとして一番大切なことかなというふうに思ってます。

本来、APUの学生さんとの交流だったと聞いてますけど、私も以前何回かAPUに行ったことがあって、本当に国際色豊かで、あの場に行くと本当に異次元な感覚を覚えます。1つ提案というか可能かわからないんですけども、例えば中学生などを対象に、APUの学生さんがこちらに来て学校で交流するとは逆に、中学生がAPUのキャンパスを見学するとか、交流を深めたAPUの学生さんに案内してもらったり、それとか可能であれば英語で行われている講義を見せてもらうとかいうのも絶好の機会だと思います。あと海外から来ているAPUの学生さんが、なぜ日本に来ることを選んだのかとか、将来目指してる夢とか目標とか、APUでそういう会話とかができたりするとおそらくすごく刺激的なんじゃないかなと思っています。こういったAPUの学生さんと、連続性のある交流活動というのを、小学校から中学校の9年間の中に、ぜひ長期的な視野でカリキュラム化していくことはどうなのかなというふうに思いました。APUも地域交流事業をすごく学生に投げかけているみたいで、おそらくすべてとは言わないんですけど、必ずこう何か心に響く生徒がいると思います。いずれは世界の舞台で活躍する人材が生まれるとかそういうきっかけの1つとして、面白い取り組みだという気はしました。以上です。

志賀教育長

甲高委員をお願いします。

甲高委員

はい。1月12日に行われました竹田市二十歳の集いに、委員皆さんで参加して参りました。まず二十歳を迎えられた皆さん本当におめでとうございます。その時に、代表の方は夢を真剣に語られました。夢については竹田中学校に行ったときに運営委員会でも話したんですが、やはり夢を持つことというのは非常に大事だと思っています。それに向かって、例えばそれが仕事だったり、スポーツだったりもそうなんですが、それに向かって頑張っていく、目標に向かって勉強していくということになると、勉強もスポーツも楽しくなっていくんじゃないのかなというふうに考えています。

今、竹田市は、サッカー、ソフトボールだったり、全中の大会があったりと、スポーツに対して非常に活発になってきてるなというふうに感じています。勉強もそうなんですがやはり夢を持っていていただく。そして、先日別大マラソンの審判をしてきました。大学の若林君が引退試合となりましたが、それも1つの夢を終えて、次の道に進むためのステップで頑張れた、もうこの大会が最後だから頑張れた、そういう目標を持って走っていく姿というのを、ちらっとだけですけど見ることができました。

これから先、竹田市でもいろんなスポーツにチャレンジして、部活動のあり方

検討委員会も含めてですが、クラブ活動、また部活動で活躍していつってくれる、夢を追いかけてながら、勉強もそうなんですが、活躍していつってくれる人が増えたらいいなという思いながら、二十歳の集いの話を聞かせていただきました。とにかく皆さんで、全力でサポートしていくことが大事なのかなというふうに考えています。以上です。

志賀教育長

進委員をお願いします。

進委員

はい。私からは、ちょっと私事になるんですが、息子二人が大学受験を一人は終えて、一人は今途中です。何とも英語に足を引っ張られるというか、英語が身を苦しめるというか。思い返せば中学時代ぐらいから、もう英語が苦手だなというのを思っていたみたいで、苦手だからなかなかそっちに取り組みなくなってしまうと、高校になると、部活とかもあって、中学まで受けてた英検とかも受けなくなって、どんどん苦手を重ねていった感じです。そこで思うのが、小中学校とかで、本当に竹田市が目指す英語のまちで、好きとか楽しいというのをすごく思ったら、苦手意識に繋がらなくて、英語がどんどん好きになると勉強する。そうすると、受験とかになったときに自分の身を助けて、進路の幅が広がったり、さっき岡委員がおっしゃったような交流の場とかもあって、英語と関わっていけるとすごくいいのかなあと、わが子育てを振り返りながらそう感じました。中学時代、2人とも先生には恵まれたんですが、何故か苦手と思ってしまったというところが、何でかなというところなんです。竹田市の目指す英語のまちづくり、一緒に進めていけたらいいなと感じた次第であります。以上です。

志賀教育長

ありがとうございました。それぞれ感想等いただきました。1つ、中学生とか小学校の連続性のある英語を通しての交流ができないかという、質問、ご要望がありました。それから最後の英語で、足を引っ張られるという話もありましたので、その点について学校教育課長どうでしょうか。

渡邊学校教育課長

はい。まず岡委員さんのおっしゃった、小学校から中学校に、系統的に何か計画を立てて、先月のような活動ができないかというところで、APUの学生さんを使うのは、大分県教育委員会を通したら、お金が全然いらないんです。竹田市の持ち出しがないんです。給食代ぐらいです。だから、来年はもう本当にぜひ今度中学生の学習の中に呼んでいきたいなというふうに思いますし、今年度は1回だったんですが、単元のゴールで、表現活動がいろんな場面でできるなあとということで、来年度もう少し数を増やしながら、先ほど言った系統的というところまで、こちらの方が計画を立てられたらいいなというふうに思っております。

あと、英語が苦手だという英語が足を引っ張るというところですが、実は、1月25日のたけたん自學のときに、数学と英語で講義を組んでいただいたんですが、英語の講師をしてくださった先生のお話の中で、長文の読み取りの苦手なお子さんも多いということで長文の読み取りのところを授業というか学習してくださったんですが、説明文というのは、国語にも共通するんだけど、正論だけだと、読み応えのある文章にはならないので、必ず正論から始まれば、その反対に対する論理がずっと繋がっていく。そのときにそれを、説得力を出すために、具体を挙げて書かれている。だから、逆に今度、あれと思うような文章と

どうか、ちょっと非常識だなとか、一般的じゃないなという内容から始まったときには必ず今度、いやでもこうなんだよということを、正論を述べていくというのが、そういう知識があれば面白く読めるんだそうです。だから、もちろんその英語の単語をたくさん知るとか、文の作りを学ぶ、文法を学ぶとかいうのも大事なんだけど、説明文はこんなつくりになってる、物語文はこんなつくりになってる。しかも、入試として問われるときには、必ずもうこういうふうに聞かれるんだみたいなお話の英語の講義が最初にあって、なかなかやはり中学校ではそういったところの話をしないので、そこがわかっていると本当に、先ほど興味じゃないですけど好きじゃないですけど、面白いと思って読めるんじゃないかなあというふうに思いました。だから、ぜひ中学校の先生にも来て欲しかったなとその講義を受けながら私は思ったんですが、そういった形でこれからその話をまた中学校にしていきながら先生方にもしていきながら、先生方のスキルを上げていくと同時に、児童生徒の興味関心を引けるような、施策、取り組みこれからも提案していきたいと思います。励ましありがとうございます。

志賀教育長

どこの小学校に勤務したときかはっきり思い出せませんが、社会見学でAPUに行ったことがあります。別府のサービスエリアから、APUに降りられるようになっていて、500円握り締めてAPUの食堂に連れていったことがあります。外国からの留学生もたくさんいるので、何か一言話して来るようにミッションを与えて、話したら食べていいというようなことをしました。中学生についても、交流の方法があるのか研究したいと思います。

それから「英語のまち」という掛け声だけでは駄目ですが、昨年11月の英検I B Aの検査で、去年よりもかなり成績が上向いています。花開いたまではいかなくて、ちょっと蕾が出たかなというぐらいです。開花・結実まで行きたいなというふうなことを思っています。道半ばではありますが、またこれからも頑張ります。

その他、ないでしょうか。

それではないようですので、以上で第2回定例会を閉会します。

ありがとうございました。

(閉会)

[閉会時刻:午後3時58分]